

救急出動件数は
年々増加中！

地域のみんなで命を救う

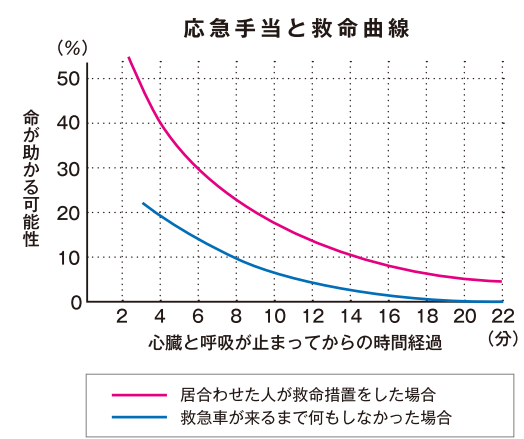
「心肺蘇生法」をマスターしよう

みなさんは、もしも目の前で人が倒れたらどうしますか？ もしかしたらその人が自分の家族ということだって考えられます。そんな方が一のときに、その場に居合わせた人が行う応急手当と119番通報が尊い命を救います。

もしも、目の前で人が倒れたときに、対処できるのはアナタです。

病気や事故などで心臓が止まってしまうような事態は、いつ、どこで起こるかわかりません。心臓が止まるといことは、全身に血液を送る機能が止まってしまふということ。血液の供給がなくなると、脳細胞は約3分で死滅してしまいます。

また、救急車が到着するまでにかかる時間は、全国平均で約9分。しかし、宮崎県では山間部などが多いことも影響して、それ以上の時間がかかるケースがほとんどです。したがって、救急車の到着までに、そばに居合わせた人がAEDを使用し、胸骨圧迫によって脳に血液を送ってあげることがとても重要になります。



【なるほど！AED】
AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を送るポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。
フタを開けると、使い捨てパッドやタオル、ハサミなどのレスキューセットが入っている

AEDを利用した救命処置

突然人が倒れたら…

- 周囲の安全を確認し、傷病者の反応を確認。
- 反応がなければ、大声で周囲に知らせ応援を呼ぶ。
- 応援に来た人に119番通報とAEDを手配してもらおう。
- 胸とお腹の動きを見て普段どおりの呼吸をしているか10秒以内で確認。
- AEDを準備（準備中も⑤を続ける）。
- 人工呼吸を行う（できなければ省略しても良い）
- 胸の真ん中あたりを強く圧迫する
- AEDから流れる音声ガイドに従い、電極パッドを装着する
- 放電ボタンを押し、電気ショックを与える。

救命講習を受けましょう！

救急出動件数は年々増加しており、串間市でも昨年だけで809件の出動がありました。いざというときのために「心肺蘇生法の知識と技術」を身につけておけば救える命があります。市民のみなさんにも、そういった場面に遭遇した際に、実践できるようになってほしいと思います。串間市消防署では、ご依頼に合わせて講習会を実施しております。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ / 串間市消防署 ☎72-0297
串間市消防署 小山 博也さん



搬送

搬送時間が
90分→15分に！

1分1秒を争う場面で大活躍 命を救う「ドクターヘリ」

宮崎県が平成24年から運航を開始したドクターヘリ。出動要請は、現在、県内で年間約500件、本市では年間約40件にのぼります。救急医療の核でもあるドクターヘリについて紹介します。

優れたもののドクターヘリ

ドクターヘリは、その機内に救急専用の医療機器を備え、医師や看護師が搭乗して救命医療を行うヘリコプター。宮崎県では、宮崎大学医学部附属病院が基地病院となっており、消防機関からの要請に応じて出動し、患者に治療を施

しながら、いち早く医療機関へ搬送します。※市民から出動要請を依頼することはできません。

ヘリの利点は、何といたっても現場に到着した瞬間から治療を始められること。おかげで、患者が社会復帰できる可能性がぐんと上がります。しかも、市内から宮崎市までの搬送時間は、なんと15分！ヘリで搬送された場合、運行費用はかかりませんが、医療行為を実施した場合は、通常の医療保険制度に基づいて負担が発生します。



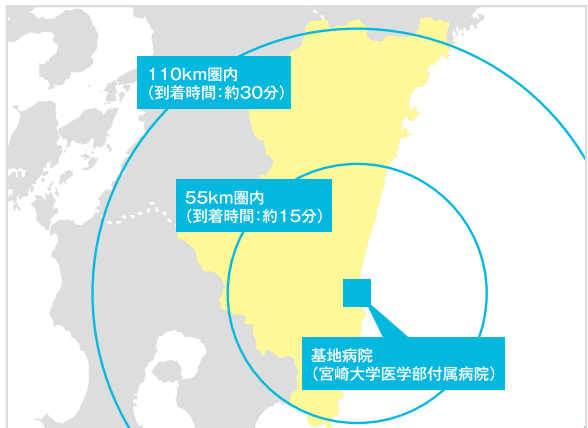
お願い

ヘリが離着陸する場合は、危険ですので周囲に近づかないようにしてください。また、周辺住民の方には一時的な騒音などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

臨機応変なヘリの離着陸

ヘリは、原則としてあらかじめ離着陸場と設定している場所の中から、消防機関が最適と判断した場所に着陸します。設定した場所以外であっても安全が確保できる着陸可能な場所であれば、緊急的に着陸することもできます。

宮崎大学医学部附属病院からの到着時間



串間市管内の離着陸場

- 運動公園陸上競技場
- 本城いこの里
- 大納漁港
- 福島川河川敷
- 崎田地区運動場
- 岬広場
- 大東地区多目的運動公園
- 都井中学校
- 市木地区多目的運動広場
- 本城中学校
- 立宇津漁港公園

救急車は地域の限られた救急資源です

その「119番」本当に必要ですか？

高齢社会である昨今、救急車の出動件数が年々増加傾向にあります。軽い病気やケガなど緊急性のない要請で救急車が出動するケースも増えていきます。救急車は24時間いつでも出場できるように待機していますが、同時に出場できる台数や隊員の数には限りがあります。今すぐに救急車を必要としている傷病者に適切な医療を提供するためにも、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

【全国での不適切事例】

- 日焼けてヒリヒリする
- 入院・受診予定日だから病院に行きたい
- 緊急性はないが、移動する手段がない
- 救急車を呼ぶと早く診察してもらえる

緊急の場合は、ためらうことなく救急車を呼んでください。また、どうしたらいいか不明なときは消防署にご相談ください。
串間市消防署 ☎72-0297